



414  
A 712

呈覽  
大臣  
大隈重信

明治九年二月十日西字新聞ニ京報訳文アリ未タ京報不到

ニ付横文ヨリ再譯スル左ノ如シ

雲南拳動ニ係ル奏聞書並上諭訳文



總督李翰章並幫同薛〇〇謹テ上奏スルニ漸々委任之事件ヲ  
査究スルニ前任署都司ヲ勤務セル官員コソ外國人ノ雲南境ニ  
進入スルヲ阻止セシメル源望ノ者ト見ヘタリ故ニ不取敢是ヲ公  
堂ニ召出シ事跡査究スル為メ前ニ其官職ヲ革スルノ上諭アリ  
度キ更テ奏請スル条件「マルカリ」氏ヲ戕殺セル者等之口供ヲ得  
テ後テ 臣等 道臺ケンナールビシ並チヤンシーラン等ヲシテ辛ク囚人ヲ分  
別研鞠スヘシト下命シタルニ囚人ノ陳述スル處ニ依レハ彼等ハ外  
國人ヲ捕ヘテ其携帶スル物件ヲ掠奪セントセシニ外國人千銃ヲ放  
テ同謀「アエ」ナル者ヲ殲シタリ故ニ衆人之ニ背キ遂ニ「マルカリ」  
並隨者四名ヲ殺害シムリト身言ス其挑唆セシ者ハ何人ナル哉ハ意

大正十一年  
大隈侯爵邸



ヲ固シテ敢テ吐露セハ前同知吳啓亮之言ルニ依レハ其事ハ  
曾ニ彼レノ不知慶素ヨリ之ヲ聊カ企望セシ復ナシト云ヘリ  
李玲國ノ申立ニ據レハ「ウエイツラマ」ノ書面ニ陳言セル慶ハ敢テ然ラ  
スト彼レ前告ヲ見レハ西曆千八百七十五年第一月ニ騰越廳迄急  
報シ来ル復アリ其言ニ曰ク西人許多兵丁ヲ引具シテ將ニ境域ニ  
進ントス依之若クハ暴舉ノ事モ難斗ニ付身家預防之為ノ人  
民ヲ徵募セリト報告セシ復アリト明言ス是レ李玲國カ自カラ  
吐狀セシ慶ナルニ其後疑問再三ニ及ニテ前述ノ通り「ウエイツラマ」之  
申立ヲ不是トセリ茲ヲ以テ疑フヘキ充分ノ廉アリトス  
臣李翰章途中ヨリ先キニ「スイナ」ナルモノヲ騰越へ往カシメ竊カニ  
事由ヲ探偵按見セシニ安者府ニ歸リ報スル慶左ノ如シ  
「マルガリ」氏戕殺ノ所業ハ不化ノ犯者ニ係リ捕ヘテ其携帶  
物ヲ劫掠セントシ竊ニ土民ヲ嘯集シ外國人之境域ニ進入スル

ヲ妨ントスト亦タ途中ニテ傳聞スル慶ニ依レハ全ク李玲國ガ所  
為ニ出テタリトス然レ氏「マルガリ」氏戕殺ノ時ニ彼レ其雅所ニ居  
ラス亦タ清兵モ之ニ關係セザリシト云々  
此事件ニ関スル往復書ヲ見ルニ清曆三月即チ去年我カ四月六日之頃ハ李  
玲國騰越廳ノ人民ヨリ已レニ寄送シタル公函ニ通テ副ヘテ巡撫  
岑毓英ニ具陳セシ一書アリ之レニ因テ見ルニ彼李玲ガ手ノ下ノ地方ヲ  
嚴ニ防禦シ拒拒セシムルノ用意ヲ為シタル明了ナリ時ニ雲南巡撫  
岑毓英彼レニ下命セルハ其人民ヲ安堵シ叩リニ舉動ノ振舞ナカラシメ  
シ復テ以テス然リト虽氏其事ハ既ニ暴祭ノ治テ良久シキニ出テタリ  
之ニ依テ見レハ李玲國ハ縱令ヒ戕殺セシムルノ意ナクト云フモ其外人  
ガ進行ヲ拒拒セシメシ止望アル亦タ免カレサル慶ナリ茲ニ於テ臣等  
高議シテ彼レノ官職ヲ奪シ徒ラニ虚言ヲ伸シムルナキヲ覓ム故ニ  
彼レヲ吳啓亮並蔣宗漢二日ノ猶豫ヲ共ヘス府城之公堂

一由サシメ明晰良々裁結ヲ遂ケシ為メ辛キ研鞠ヲ受ケシメントス  
故ニ<sup>臣等</sup>俱ニ跪テ奏書ヲ奉シ西太后宮並皇帝陛下ノ天覽ニ供ヘ  
然リ而シテ彼レノ官職ヲ革スヘキ旨ノ上諭アラシク復ラ俛俯以テ奏ス

千八百七十六年一月廿四日前述ノ上疏ニ左件之勅諭アリ

朕 李翰章等が奏請ノ旨ヲ視ルニ署都司が官職ヲ革シ明晰  
裁結ヲ得ンガ為ノニ別人ト俱ニ公堂ニ引出サン復ヲ以テス李玲國が  
「<sup>カ</sup>ルガリ」戕殺ニ係ル明言ニ依レハ外國人大兵ヲ引具シテ其境域ニ  
入ラントスルヲ瞻越廳ノ人民傳聞シテ其身家保全ノ為メ人民ヲ  
募リシト通知セシニ依テ去メノ由ニ見ヘタリ之ニ於テ尚々先々関  
係ノ廉アル哉否ヲ訊究スルニ上奏ノ趣最モ緊要ナリトス欽此ス  
ルニ李玲國が官職ヲ革シ李翰章等へ交付シテ其他既ニ革職ニ  
達ヘル吳啓亮並蔣宗漢等ト共ニ嚴重研鞠セシムル復ヲ以テス  
依テ其關係ノ衙門へ尚々事ヲ奉體シテ以テ普ク通知セヨ



石  
一  
海  
日  
本  
令  
皇  
令